

令和元年度 事業報告書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなのひろば

令和元年度事業概要

今年度の事業について、「フリースクールみんなのひろば」「みんなのひろば高等部」「放課後等デイサービスほーかごひろば」「みんなのひろば相談室そーだんひろば」この四事業を主として活動を行った。

当法人のミッションとして掲げている「不登校であっても、障がいのある子どもでも、夢を持って、安心して過ごすことのできる地域社会づくりに寄与すること」これに沿った活動を続けていく。

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子どもが主体となるフリースクール運営事業 事業費 9,011(千円)

●「フリースクールみんなのひろば」については、小学生から高校卒業生までを対象として、安心できる居場所づくりを基本として不登校サポート・自立サポートを行っている。(令和2年3月31日現在、16名の児童生徒が在籍)学習支援はもちろんのこと、ボランティア体験、野外活動、スポーツ活動、職業体験、季節行事など、子どもたちが楽しみながらスタッフと一緒に参加できる活動を多く企画している。今年度において学校復帰、高校進学、大学進学、就職、他機関への移行など7名はサポート終了となった。

●「みんなのひろば高等部」について、東豊学園つくば松実高等学校の連携校として高卒資格が取得できるものであり11名の生徒が所属(令和2年3月31日現在)。レポート学習、パソコン学習、年に1回の本校へのスクーリング、期末考査、これらをスムーズに行えるようサポートしている。令和2年3月には4名の生徒が高校卒業となり、卒業後の進路指導についても継続して行っている。4月から新入生として2名の生徒が入学を控えている。

●毎年の恒例行事となっている保原ライオンズクラブ、福島信用金庫保原支店との連携事業として保原町陣屋通りの花植えボランティアを年2回実施。児童生徒、保護者、スタッフが参加し、ボランティア活動を通して、多くの方と触れ合いながら、街の美化に取り組んでいる。

●日産スマイルサポート基金2019『不登校だって実験したい!「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト』と題して助成を受け、フリースクールの児童生徒を対象とした科学実験教室を実施した。顕微鏡の使い方、水蒸気実験、薬品実験など生の科学実験を生徒たちに体験してもらうことができた。

②ひきこもり等若年求職者への就職サポート事業 事業費 0(千円)

●今年度新規利用者はなし。電話・メール連絡でフォローアップを行った。

③子どもの居場所づくり事業 事業費 217(千円)

●「発達障がいのある子どもを対象とした学習サポート事業」は、月～金曜日、18時から60分間や90分間(その子の集中できる時間に合わせて)学習サポートだけではなく、買い物学習やSSTも取り入れながら、特に人とのコミュニケーションを中心にサポートを行っている。令和2年3月31日現在、4名の生徒が利用中。(昨年度より継続中の生徒4名)

●小学校、公民館や学習センターからの講師依頼により、ニュースポーツ体験教室・レクリエーション教室を7会場で開催した。今年度よりカーリンコン、ユニホックの用具を整備し実施したが、この2種目についても評判が良く、再度の依頼が入っている。

④保護者・関係機関・行政・市民・学生の学習と交流を図る活動 事業費 632(千円)

●福島県キンボールスポーツ連盟事務局として、今年度は57会場でキンボール体験教室を実施した(新規で12会場から依頼あり)また、各市町教育委員会との連携で本宮市内全小学校(7小学校)棚倉町全小学校(5小学校)の学童クラブでキンボールクラブを実施。併せて、新地町・新地町教育委員会と連携のもと、新地町キンボールスポーツ大会を昨年度より開催。今年度は令和2年3月1日に予定していたがコロナ感染拡大防止のため中止となった。

●福島県老人クラブ連合会より講師依頼があり、審判長として第1回福島県高齢者ニュースポーツ交流大会を開催。3種目のニュースポーツ県大会を実施した。県内7会場、計1200名をこえる多くの参加者に恵まれ、事故やトラブルもなく、無事に実施することができた。今後も福島県民の健康増進とキンボールスポーツの普及、ニュースポーツの振興に努めていく。

⑤教育や不登校についての相談・情報提供活動 事業費 520(千円)

●今年度よりホームページをリニューアル。事業全体をお伝えできる爽やかで見やすいホームページとなった。インターネットで当法人を検索する方にとっても、利用しやすいものに更に改善を進めていきたい。

●教育講演会等は開催できなかったが、日産スマイルサポート基金により、不登校の子どもは科学実験を体験しながらフリースクールの活動を知り、その間に保護者が相談員にいろいろと相談できるという「不登校相談会」を年2回実施した。予約制で行い、1日5組の親子、計10親子が参加した。この相談会により、新規のフリースクール利用、放課後等デイサービス利用につながった。

●広報紙については、今年度も発行には至らなかった。当法人活動を広く知ってもらうためにも、紙媒体での広報は必要である。来年度の発行に向けて準備を進めている。

⑥親と子のふれあい事業 事業費 118(千円)

●「やさしい子育てワークショップ」は、今年度も年4回の実施。子育て中のお母さんたちがワークショップを通して交流を図りながら、日頃の子育ての悩みを話したり、先輩お母さんからアドバイスしてもらったり、という内容で実施し、今年度は陶芸、マスク作りなどのワークショップを企画した。参加者10~12名、スタッフ2~3名の参加、のべ45名の参加があった。

⑦児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 事業費 16,795(千円)

●当事業は3期目に入り、新しいスタッフも増え、更にサービスの質を高めながら事業を進めている。ビジョントレーニングや感覚統合トレーニング、SST、スポーツ活動、野外活動など、子どもたちが楽しみ遊びながら、それが療育となるようなプログラムを多くしている。令和2年3月31日現在、16名の児童生徒が在籍中である。

●平成31年3月で高校3年生(または4年生)の4名が高校卒業と同時に契約終了となったが、その子どもたちのフォローアップも継続して行っている。当事業所は中高生の利用も多いため、契約終了後のサポート(就職等の自立支援)にも、他機関と連携・情報交換を密にしながら、力を入れていきたい。

●大和証券エニックスジャパンの助成を受け、事務兼指導員スタッフの人材育成を図り、当法人事務局整備に向けて準備を進めている。今後も現場実習やフィールドワークなどを予定している。併せて、他のスタッフの研修(講習会参加、施設見学など)を実施、放課後等デイサービス職員としてのスキルアップを図っている。

⑧障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業及び児童福祉法に基づく障害児相談支援事業 事業費 560(千円)

●伊達市に相談支援事業所として指定申請をしたが、管理者兼相談員の経験年数の少なさから許可に至らなかった。管理者の部分を検討して再度申請してほしい旨、通達があったため、今年度、理事長が相談支援専門員の資格を取得。来年度に指定申請する運びとなった。

●相談室としては稼働しているため、新規の不登校相談、見学希望、子育て相談、発達相談など、併せて現在利用中の保護者との相談業務は継続して行っている。相談者が安心して相談できる雰囲気づくりを更に進めていくこととする。

⑨障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく共同生活援助 事業費 0(千円)

●特に行った活動なし。開設に向けて準備を進めている。

⑩その他目的を達成するために必要な事業 事業費 0(千円)

●特に行った活動なし。

(2) その他の事業 (収益事業)

その他の事業として収益事業は行っていない。

(3) その他

●通常総会

第1回 令和元年5月26日(日)19:00~21:00

●通常理事会

第1回 令和元年5月26日(日)17:00~19:00

第2回 令和元年8月4日(日)19:00~21:00

第3回 令和元年12月21日(土)19:00~21:00

第4回 令和2年3月1日(日)19:00~21:00

●臨時理事会

第1回 平成31年4月8日(月)19:00~21:00

第2回 令和元年7月7日(日)19:00~21:00

第3回 令和元年11月2日(土)19:00~21:00

貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人みんなのひろば

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動資産】	
(現金・預金)		短期借入金	2,000,000
現金	1,289,431	流動負債計	2,000,000
普通預金	1,527,879	【固定負債】	
現金・預金計	2,817,310	長期借入金	3,256,482
(売上債権)		長期未払金	6,254,787
未収金	3,000,312	固定負債計	9,511,269
売上債権計	3,000,312	負債の部合計	11,511,269
		正味財産の部	
		【正味財産】	
		前期繰越正味財産額	△ 2,569,139
		当期正味財産増減額	851,931
		正味財産計	△ 1,717,208
		正味財産の部合計	△ 1,717,208
流動資産合計	5,817,622		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
車両運搬具	3,776,439		
有形固定資産計	3,776,439		
(その他の資産)			
敷金	200,000		
その他の資産計	200,000		
固定資産合計	3,976,439		
資産の部合計	9,794,061	負債・正味財産の部合計	9,794,061

令和元年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなのひろば

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 経常収益				
1.受取入会金	(30000)	(21000)	(9000)	
受取入会金	30,000	21,000	9,000	
2.受取会費	(1200000)	(743000)	(457000)	
正会員受取会費	600,000	430,000	170,000	
賛助会員受取会費	600,000	313,000	287,000	
3.受取寄附金	(3000000)	(1478500)	(1521500)	
受取寄附金	3,000,000	1,478,500	1,521,500	
4.受取助成金	(2000000)	(3516000)	(△1516000)	
日産スマイルサポート基金	1,500,000	1,500,000	0	
大和証券フェニックスジャパンプログラム2019	0	2,016,000	△ 2,016,000	
赤い羽根共同募金助成	500,000	0	500,000	
5.事業収益	(26600000)	(25321214)	(1278786)	
①フリースクール事業収益	5,000,000	4,048,657	951,343	
②就職サポート事業	0	0	0	
③こどもの居場所づくり事業収益	200,000	0	200,000	
④福島県キンボールスポーツ連盟事業収益	600,000	600,000	0	
⑤相談・情報提供活動	0	0	0	
⑥親と子のふれあい事業収益	100,000	100,000	0	
⑦放課後等デイサービス給付費収益	20,000,000	20,440,557	△ 440,557	
⑧相談室そーだんひろば収益	700,000	132,000	568,000	
⑨グループホーム収益	0	0	0	
6.その他収益	(6000)	(328)	(5672)	
受取利息	1,000	328	672	
雑収益	5,000	0	5,000	
経常収益計	32,836,000	31,080,042	1,755,958	
II 経常費用				
1.事業費	(24600000)	(27853416)	(△3253416)	
①フリースクール事業費	4,000,000	5,221,643	△ 1,221,643	
(人件費)	3,000,000	3,789,002	△ 789,002	
②就職サポート事業	0	0	0	
③こどもの居場所づくり事業費	100,000	86,101	13,899	
(人件費)	100,000	130,500	△ 30,500	
④福島県キンボールスポーツ連盟事業費	240,000	226,718	13,282	
(人件費)	360,000	405,000	△ 45,000	
⑤相談・情報提供事業費	300,000	520,928	△ 220,928	
⑥親と子のふれあい事業費	100,000	118,336	△ 18,336	
⑦放課後等デイサービス事業	5,000,000	7,180,237	△ 2,180,237	
(人件費)	9,000,000	9,614,506	△ 614,506	
⑧相談室そーだんひろば事業費	600,000	375,445	224,555	
(人件費)	1,800,000	185,000	1,615,000	
⑨グループホーム収益	0	0	0	
(人件費)	0	0	0	
2.管理費	(2080000)	(2374695)	(△294695)	
消耗品費	100,000	80,775	19,225	
車両費	200,000	228,657	△ 28,657	
水道光熱費	100,000	71,694	28,306	
印刷製本費	30,000	26,992	3,008	
通信運搬費	100,000	128,904	△ 28,904	
旅費交通費	150,000	128,086	21,914	
広告宣伝費	50,000	26,700	23,300	
新聞図書費	200,000	99,756	100,244	
損害保険料	50,000	10,800	39,200	
租税公課	100,000	87,073	12,927	
減価償却費	300,000	193,748	106,252	
地代家賃	400,000	367,200	32,800	
支払手数料	300,000	924,310	△ 624,310	
経常費用計	26,680,000	30,228,111	△ 3,548,111	
当期経常増減額	6,156,000	851,931	5,304,069	
III 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期正味財産増減額	6,156,000	851,931	5,304,069	
前期繰越正味財産額	△ 2,569,139	△ 2,569,139	0	
次期繰越正味財産額	3,586,861	△ 1,717,208	5,304,069	